

# 頼もしい子 ~心の宝物に満ちた学校~

令和6年2月27日

## したほうがいい だからする

校長 尾崎 友美

先日、地域の方からとても嬉しい手紙をいただきました。

2月4日（日）16時ごろ～

佐賀の新川（2年生が川たんけんする浅くて狭い川 ビオトープ）の水位が低くなっていました。その川のごみ拾いを4人の子供がしていました。

4年生男子2人と女子2人です。長靴をはき、火ばさみも用意していました。

「一緒に拾ってもらえませんか」と誘ってくれました。帰りには「ありがとうございます。気を付けて帰ってくださいね」と声をかけてくれました。一人の子は長靴の中に水が入って寒がっており、帰宅したらすぐに着替えるように伝えました。

4人でごみ袋1杯分近いごみ、ペットボトル、空き缶を拾っていました。すてきな子供達でした。

ごみ拾いをしようと友達を誘った子に話を聞きますと、数日前から川にごみがあることに気付き、どうしたらきれいにできるか相談し、必要なものをそろえ、時間を調整して川へ向かったとのことでした。休日に誰かに頼まれたわけでもないのにすばらしいことをしましたね、と伝えると

「楽しかったよ。川がきれいになったし、うれしかった。」

「またやりたいね。」

という言葉が返ってきました。

それから数日して、4年生から6年担任に手紙が届きました。

6年生の女の子2人が交差点の周りのごみ拾いをしていました。私が見たのは、2月14日の5時過ぎです。

彼女達も、以前から地域のごみのことが気になっていて、きれいにしたいと思っていたそうです。

「たくさん拾うことができ達成感がありました。」

「拾ったのは、空き缶、たばこの吸い殻、お菓子の空き袋など。捨てないでほしいです。」

このように話してくれました。

ごみ拾いをした子、誘われて一緒に活動した子達はもちろん、その様子を見て素敵だなと感じた子にも、地域のために働くことのよさや大切さを理解して、積極的に働こうという意欲を感じます。その心に感動をしました。※川や道路での活動では安全に十分留意することも伝えました。

「したほうがいい だからする」

私たちは日々、様々な選択場面に出合います。「よい選択」ができる時もあれば、そうでない時もあります。自分で考えて選ぶ、自分でよいと思う方を選ぶことを繰り返すことで、成長し、自信が生まれます。周囲の人の幸せにもつながります。今回紹介した2つのエピソードでは、自分たちが生活する地域のごみに気付き、自分たちの手できれいにするという事を選んだことにより、自分や仲間、地域の方の笑顔につながりました。こうした選択を見逃さず、子ども達の成長を支え、見届けていきたいと改めて感じました。

今号では、尾崎校長先生、PTA会長武藤さんにインタビューしました（聞き手：土田）。

◇小学校のころの思い出は。

武藤「仲がよい友達とずっと一緒にいたことです。帰り道が同じで、私のほうが遠かったのですが、その子の家を通り過ぎてても別れずに、私の家の近くまで一緒に歩いていました。」

尾崎「『馬乗り』『Sケン』という遊び。どちらも痛かったり怖かったりしたけどそれがおもしろくて、男女関係なく遊んでました。」

武藤「スリルのある遊びってありましたね。公園に回転する遊具があって、それから落ちて前歯が欠けたこともありました。恥ずかしくて、親にはしばらく言えなかったけれど…。」

◇学校と家庭、それぞれの子どもへの関わり方は。

尾崎「これについてはお願いしたいことがあって、保護者の方には年度初めの個人懇談で、ご家庭の教育方針をぜひ担任に伝えていただきたいです。ご家庭と学校で、お子さんの成長を一緒に考えられる関係を一層つくっていきたいです。保護者のお考えを聞くことで、学校にとってもその子その子に必要な指導・援助がより明確になります。」

武藤「先生方には、保護者とは異なる見方で、子どもたちを見届けていただけたらうれしいです。例えば、『授業であまり発言しないこと』を本人や保護者はマイナス面と思っているかもしれませんが、別の見方をすれば『慎重に言葉を選んでいる』『口には出さずに考えている』ともいえますよね。そうやって捉えてもらえると、私たちもマイナスと思っていたことをプラスで受け止められます。また、子どもの様子が心配だった時、担任の先生が本人のがんばりをありのまま認めてくれたり、アドバイスをしてくださったりして、安心したことがありました。」

◇PTA活動の今後の可能性について。

武藤「『やりたいことを実現する』組織にしていけたらいいですね。『〇〇委員会は〇〇をしなくてはならない』という感じを無くしていけたらと思います。『めんどろだ』と考える人もいらっしやるかもしれませんが…。」

尾崎「一歩踏み出してくれる人が、きっといらっしやいますよね。」

武藤「『大人も楽しもう』と思って取り組んでくれる方もいらっしやると思います。今年度寄贈した図書についても、親子の会話や、本を見て一緒に料理や工作をすることにつながることを願っています。」

尾崎「持続可能な方法で、会員の皆さん自身が楽しめるような活動にしていきたいですね。」

武藤「楽しむことって、本当に大切だと思います。会長職も楽しみながら取り組めましたし、『私って人前で話すことが苦にならないんだ』とあらためて気付けることもありました。」

尾崎「一年の終わりにそんな気持ちになっていただけたことが何よりです。子ども達はもちろん、保護者の皆さんにも『人生の主役は自分』だと実感してほしいです。」

二人は約10年前に仕事で知り合い、楽しかったこと、苦しかったことを共有してきた仲。今年度驚きの再会を果たしました。



2月8日に2回目のなわとび集会を行いました。たてわり班ごとに2つのグループに分かれ、大縄を使って8の字跳びをしました。それぞれの班には目標回数があります。これまで7回の記録会がありました。この日は最後の記録会でもあり、グループごとに声をかけ合って新記録や目標更新に挑戦しました。「この1ヶ月で1年生がたくさん跳べるようになって嬉しい」と喜ぶ高学年の笑顔が素敵でした。

2月15日は今年度最後の授業参観、学級懇談会にご参加いただきありがとうございます。この1年間の学習のまとめを参観いただく学年が多くありました。仲間の前に立って一人で堂々と発表する姿、仲間と意見を出し合って話し合う姿に、お子さんの成長を感じていただいたことと思います。笑顔で見守る保護者の皆様を見て、私たちも幸せな気持ちになりました。

### 3月の主な行事予定

- 15日(金) 大掃除(全学年5時間授業)
- 22日(金) 卒業式準備
- 25日(月) 卒業式(1～3年生休業日)
- 26日(火) 修了式・離任式
- 27日(水)～4月7日(日) 春休み
- 4月8日(月) 始業式、入学式

※予定が変更になることもあります。



尾崎校長 武藤PTA会長